

オリック通信 No 5

知って得する洗濯術

【落ちないシミの正体とは？】

「つけた覚えがないシミを洗濯したが、まったく落ちる気配がない」こんな経験はありませんか？実は汚れやシミではないのに、シミに見えてしまうことがあるのです。今回は代表的な2つのケースをご紹介します。



1.<服の縫い代や、胸ポケットの隅に黒いシミ？>

特に白地のブラウスやシャツによく見られる現象です。

これは服を製造するときに、ほこりや繊維の切りクズが

縫い代の中に閉じ込められ、それが着用や洗濯を繰り返す

ことによって一ヶ所に集まり、シミに見えてしまうというものです。ポケットの隅にも同じよ

うな現象が見られますが、シミなのかどうかの見分け方は簡単です。そのシミに見える部分に

水を一滴たらしてみてください。最初は薄黒く見える部分が、くっきり鮮明に濃く見えるよ

うになればシミではなく、ほこりの塊だと判断できます。シミではないので、こすっても落ちる

ことはありません。逆に生地を傷めてしまうので注意してください。

2.<点々といくつか斑点状に見えるシミ？>

「ウォータースポット」と呼ばれる現象です。にわか雨に一瞬濡れた

ときなど、繊維に不均一に水がかかった場合に起こります。シルク、

レーヨン、光沢感のある繊維、起毛製品などが水に濡れることで繊維

自体が膨潤したり、毛並みが乱れて光の陰影が均一でなくなったり

するためにシミのように見えるのです。ウォータースポットかどう

かは、向きを変えて2か所から見ると一目瞭然です。片方からは濃く

見えるのに、反対側から見ると色が薄く見えます。シミならばどの角

度からでも色の濃さは同じに見えます。

ウォータースポットは繊維に不均一に水がかかったことが原因なので直し方は簡単です。家庭

洗濯可能なものなら桶などに水を入れてその中で服を均一に濡らし、あとは軽く絞って干せば

直ります。家庭で不可能な場合は、私ども専門家にお任せいただければ簡単に除去できます。

どうぞご安心ください。

